

令和2年2月18日

北海学園大学
学長 安酸 敏眞

2020（令和2）年度一般入学試験における出題ミスについて

2月11日（火）に実施した2020年度 北海学園大学一般入学試験において、出題ミスが判明しました。ご関係の皆様には本学の処置をご説明申し上げます。厳正であるべき入学試験において、このようなミスがあったことを心よりお詫び申し上げます。

ミスの内容および対応については次の通りです。

1. 試験科目	選択科目（日本史B，政治・経済）
2. 試験実施日時	2020年2月11日（火） 10:00～11:00
3. 入試方式	一般入学試験
4. 対象学部・学科と 受験者数	経営学部1部 経営情報学科 234名 法学部1部 300名 法学部2部 73名
5. 合格発表日	2020年2月23日（日）
6. 内容および対応	<u>選択科目（日本史B）</u> 該当箇所 大問1の問3（下線部3 “幕府は元への朝貢を拒否した”に関する設問） 「元は日本に国書を送り、朝貢を求めた。その対応を求められるなか、就任した執権はだれか、漢字4文字で答えなさい。」という設問において、出題の意図は正解を「北条時宗」とすることでしたが、北条時宗が執権となった1268年の時点では、まだ元という国号になっていませんでした。

	<p>た。リード文にも「1271年国号を元と称した」とあり，受験生が正解を導き出すうえで支障をきたす可能性があるため，問題として適切でないと判断しました。</p> <p>対応</p> <p>当該科目の大問1の間3（配点は，法学部1部・2部では2点，経営学部1部経営情報学科では3点）を削除し，残りの問題を法学部1部・2部では100点満点，経営学部1部経営情報学科では150点満点として採点しました。当該時限の他の選択科目の受験者を含めて，合否の判定に影響はありません。</p> <p><u>選択科目（政治・経済）</u></p> <p>該当箇所</p> <p>大問3の間6（下線部6“小泉純一郎内閣”に関する設問）「下線部（6）」に関連して，小泉内閣が進めた政策に含まれないものを，次の選択肢ア～キの中から二つ選び，記号で答えよ。</p> <p>ア 財政投融资改革，イ 道路公団民営化，ウ 電電公社民営化，エ 教育基本法改正，オ 三位一体改革，カ 特殊法人改革，キ 郵政民営化」という設問において，出題の意図は選択肢「ウ．電電公社民営化」と「エ．教育基本法改正」を正解とすることでした。しかし，教育基本法の改正は小泉内閣退陣後の2006年12月15日に成立したものです，同改正案が閣法として国会に提出されたのは小泉内閣当時の2006年4月28日ですので，教育基本法改正を「小泉内閣が進めた施策に含まれないもの」とすることは妥当でなく，その結果，正解を二つ選ぶことができなくなりました。</p> <p>対応</p> <p>当該科目の大問3の間6（配点は，法学部1部・2部では4点，経営学部1部経営情報学科では6点）を削除し，残りの問題を法学部1部・2部では100点満点，経営学部1部経営情報学科では150点満点として採点しました。当該時限の他の選択科目の受験者を含めて，合否の判定に影響はありません。</p>
--	---

北海学園大学では，今回起こった出題ミス発生の原因を調査し，このような事態を今後起こすことのないよう，全学をあげて再発防止に取り組む所存です。